

緑創

も・く・じ CONTENTS

- 全林研齋藤会長挨拶 1
- 全国林業グループコンクール 2
- 全林研通常総会 5
- 全国林業後継者大会 6
- 全林研中央研修会 8
- 全国がんばる林業高校生表彰 9
- 山・森・人フォトコンテスト 10
- 第35回世界子ども愛樹祭コンクール作品募集要項 12
- 全林研ホームページ紹介 13
- はつらつコーナー 14
- お知らせ 20

全林研だより「緑創」の発行にあたって

全国林業研究グループ連絡協議会 会長 齋藤 正



We Love Forest!

皆さんこんにちは、全林研会長の齋藤正でございます。私たちの会誌『緑創54号』発刊にあたりご挨拶申し上げます。

皆様には、各地で頻発している線状降水帯などの異常気象災害や、世界的な社会不安定の影響により、大変なご苦労の中で林業を続け、地域経済を支え、地域の維持や振興にご尽力いただいていることに、深く敬意と感謝を申し上げます。

さて、一昨年より私たちの会誌である緑創を直接単位林研の会長さんにお届けを始めました。おかげさまで、各地からご好評をいただき、情報をお届けすることができました。今後も、緑創やホームページ、YouTubeチャンネル、SNSなどを通じて、全国の仲間の皆様に新鮮な情報をお届けしてまいりますので、ぜひご活用ください。

現在においても、私たち林研が目指すものは、林業技術の向上や林業振興だけでなく、『林業・木材業の振興を通じて中山間地域の活性化』を実現していくことです。そもそも林研グループは、林業普及指導事業の円滑な推進と普及効果の拡大を目的として組織され、国や県、市町村、普及協会の指導と協力のもとでスタートしました。

私たちは、「緑あふれる国土」「産業としての林業」「豊かな中山間地域」を未来に引き継ぐため、組織を改革しながら維持していかなければなりません。

「林業普及の円滑な推進」という根底に秘められた使命をもう一度各グループで見直していただきながら、グループ活性化に向けた取り組みを検討していただきたいと思えます。

現在では、社会情勢の変化により担い手が変わり、発足当時のメンバーが林業の経営に直接携わらないケースが多くなっています。

また、時代の流れの中で、林研グループのメンバーは多様化が進んでいます。多様なメンバーは、木育や学生への森林教育など、民間による「林業普及」を実践している力強い仲間です。

このような変化によって、林研グループは大きく変わることができると私は信じています。皆さんも力強く変革を進めながら、共に頑張っていきましょう！



林野庁長官賞



地域資源(森林資源)の多面的活用による地域活性化
 地域の特徴・地域資源を活かした地域活性化を活動方針として多彩な事業を展開。「木の駅プロジェクト」美和の運営、薪製造販売事業、森林・環境教室として「出前授業」、「間伐体験」等の実施、中世の城郭整備活用事業として、中世の城郭跡を未

● 森と地域の調和を考える会(茨城県)

地域資源(森林資源)の多面的活用による地域活性化

来に継承すべき地域の宝と位置づけ、地権者の了承を得て整備を実施するとともに、パンフレットを作成し、山城ツアーを実施。その他、街並み保存修復事業として、楼閣や庭園を整備、多くの見学者が訪れ、地域活性化の一助となる。

● 松代やぶごぎきの会(新潟県)

スモールビジネスが支える里山維持活動

不要なスギを伐採した景色の良い場所にキャンプ場を開設、その収益で森林整備を実施。里山アウトドア体験としてスノーシュー体験、マップルシロップ体験等を開催。プロ



宮津市森林・林業研究会(京都府)
 ふるさとの宝 杉山天然杉と共に
 天然杉樹齢300、400年の保全・育成・活用する活動を実施。2017年から遊歩道、案内板、東屋等を整備し、「杉山エコミュージアム」を開設。地域の小学校の改築記念に天然スギを寄贈、そのスギの種から苗木を育成し、杉山に里帰りさせ、植樹を実施。「杉山エコミュージアム」をフィールドに自然観察会等を実施。



全国林業グループコンクール 農林水産大臣賞 は北海道 「森町林業グループ」



QRコードでGO!!



農林水産大臣賞、林野庁長官賞を受賞された皆さん。小坂善太郎林野庁次長(当時)とともに

令和6年度の全国林業グループコンクール(主催/全国林業研究グループ連絡協議会、協賛/全国林業改良普及協会)が、2月27日、東京都千代田区の全国町村会館で、集合開催され、ブロックコンクールで選ばれた6グループが日頃の活動成果を発表しました。
 最優秀である農林水産大臣賞には、北海道・東北ブロック選抜の北海道・森町林業グループが選ばれました。林野庁長官賞ほかの入賞グループは下表のとおりです。
 なお、審査員は安村直樹氏(東京大学大学院准教授 審査委員長)、小田島有沙氏(全国森林組合連合会 組織部林政課 主任)、大塚生美氏(森林総合研究所東北支所主任 研究員)、中山聡氏(全国林業改良普及協会 専務理事)の4名にお願いしました。

● 森町林業グループ(北海道)

森町とともに歩んで30周年!

林業に興味のある異業種の方にも声をかけ、鉄鋼業、水産加工業、大工、養蜂家、役場職員など多岐にわたる会員で活動を実施。SDGsの取り組みとして、「良い山を作れば、良い土になり、良い海になる」「上から下へ」をモットーに令和4年度から植樹祭、田植え、海のゴミ拾いを地元の学生や企業などとともに実施。海外からの技能実習生と地元

住民との交流を目的として実施した田植えイベントは町長や地元住民総勢100名を越す大イベントとなった。
 また、森林環境譲与税を活用した森林環境教育として、小学生を対象に地元の特産である木炭の生産工程を学ぶ出前事業を実施。炭窯見学や木炭の水質浄化実験を行い、地元の産業振興について学ぶ機会を提供。

令和6年度全国林業グループコンクール入賞一覧

農林水産大臣賞	北海道 森町林業グループ
林野庁長官賞	茨城県 森と地域の調和を考える会 新潟県 松代やぶごぎきの会 京都府 宮津市森林・林業研究会 愛媛県 愛媛県林業研究会グループ青年会議 佐賀県 佐賀市婦人林業研究会 全国林業改良普及協会会長賞
全国林業研究グループ連絡協議会会長賞	宮城県 津山町林業研究会 富山県 富山地区林業研究会グループ協議会 三重県 認定特定非営利活動法人 森林の風 徳島県 木沢林業研究会 熊本県 五木村林業研究会
東北ブロック選抜	青森県 東北町森林組合青年部 岩手県 興田地区振興会、合同会社 秋田県 平鹿地区林業後継者協議会 山形県 庄内山菜研究会 福島県 会津自然エネルギー機構 群馬県 NPO法人 ロカリス 埼玉県 秩父森林活用研究会 千葉県 市原の「こぎ」よろしくし隊 東京都 八王子市林業研究会 石川県 輪島市林業研究会 長野県 小原ECOプロジェクト 福井県 諏訪林業士・GM会 岐阜県 高鷲町林業グループ 静岡県 中遠地区林業研究協議会 愛知県 とよはしきこり隊 滋賀県 多賀町林業研究会 兵庫県 里の華 奈良県 奈良県林業女性グループ連絡協議会 和歌山県 紀美野町林業研究会 鳥取県 若桜町林業研究会 岡山県 二川愛林会 広島県 新見市新林業経営者クラブ 山口県 三次市森林・林業研究会 福岡県 美川町優良材生産研究会 長崎県 杷木林業経営研究会 大分県 ごとう樟苗木生産クラブ 宮崎県 玖珠郡林研グループ 鹿児島県 諸塚村林業研究会 沖縄県 種子島しきみ生産組合 吉田サハ造船



また、永年功労者に感謝状を贈るとともに、全国林業グループコンクール入賞グループ及び山・森・人フォトコンテストの表彰を行いました。

令和7年度 全林研通常総会を開催

令和7年2月28日、東京都千代田区の全国町村会館において、令和7年度全国林業研究グループ連絡協議会(全林研)の通常総会が開催されました。会長挨拶に続き、来賓の小坂善太郎林野庁次長(当時)、中山聡全国林業改良普及協会専務理事により祝辞をいただいた後、議事に入り、執行部提案の各議案について審議が行われ、全て原案通り承認されました。全林研の令和6年度決算、7年度予算は別表のとおりです。

全林研令和7年度予算

(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

科 目	当年度予算(A)	前年度予算(B)	増減(A-B)
1. 収入の部			
会 費	920,000	920,000	0
全林協助成金	1,000,000	1,000,000	0
事例集販売額	500,000	500,000	0
全林研グッズ販売額	3,000,000	3,000,000	0
広告料	280,000	280,000	0
雑収入	1,000	1,000	0
収入合計	5,701,000	5,701,000	0
2. 支出の部			
会議費	2,800,000	2,800,000	0
事業推進費	200,000	200,000	0
機関誌発行費	600,000	600,000	0
事例集発行費	500,000	500,000	0
全林研グッズ制作費	3,000,000	3,000,000	0
緑の募金拠出金	50,000	50,000	0
事務局費	380,000	380,000	0
支出合計	7,530,000	7,530,000	0
当期収支差額	△1,829,000	△1,829,000	0
前期繰越額	13,481,921	13,727,450	△245,529
次期繰越額	11,652,921	11,898,450	△245,529

特別会計(国庫補助金) (単位:円)

科 目	当年度予算(A)	前年度予算(B)	増減(A-B)
1. 収入の部			
収入合計	19,566,000	21,380,000	△1,814,000
2. 支出の部			
支出合計	19,566,000	21,380,000	△1,814,000

全林研令和6年度決算

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

項 目	決算額	予算額	差引増減
1. 収入の部			
会 費	900,000	920,000	△20,000
全林協助成金	1,500,000	1,000,000	500,000
事例集販売額	443,690	500,000	△56,310
全林研グッズ販売額	3,377,654	3,000,000	377,654
広告料	280,000	280,000	0
雑収入	1,255	1,000	255
収入合計	6,502,599	5,701,000	801,599
2. 支出の部			
会議費	2,471,668	2,800,000	△328,332
事業推進費	191,155	200,000	△8,845
機関誌発行費	639,694	600,000	39,694
事例集発行費	492,965	500,000	△7,035
全林研グッズ制作費	2,370,803	3,000,000	△629,197
緑の募金拠出金	50,000	50,000	0
事務局費	531,843	380,000	151,843
支出合計	6,748,128	7,530,000	△781,872
当期収支差額	△245,529	△1,829,000	1,583,471
前期繰越金	13,727,450	13,727,450	0
次期繰越額	13,481,921	11,898,450	1,583,471

特別会計(国庫補助金/未来の林業を支える林業後継者養成事業) (単位:円)

項 目	決算額	予算額	差引増減
1. 収入の部			
未来の林業を支える林業後継者養成事業	21,380,000	21,380,000	0
2. 支出の部			
未来の林業を支える林業後継者養成事業	21,380,000	21,380,000	0

能登半島地震等支援金 (単位:円)

項 目	決算額	予算額	差引増減
1. 収入の部			
能登半島地震等支援金	604,200	0	0
2. 支出の部			
能登半島地震等支援金	0	0	0

ウバユリの球根から採った「ゆり粉」により、伝統文化の再発掘や特用林産物としての確立などに取り組む。クラウドファンディングにも挑戦して、ゆり粉を材料とした無添加の干菓子商品化。さらに5種類の里山の宝が味わえる「ユリコ浪漫」を商品化。また、安定的に



ゆり粉が採れるよう獣害対策を行いつつ、ウバユリを栽培。



ゆり粉採りを復活させよう!!

佐賀市婦人林業研究会(佐賀県)

「労働安全」の取り組みとして、地元消防署の協力を得て、林業現場における応急処置の実践研修、大学教授を講師として「林業安全ゲーム」を通じた研修、特殊伐採技術研修の継続的な実施、林業技能検定制度の試行検定への協力等により、若手林業者等の労働安全のレベルアップと



(1)労働安全の取組
②特殊伐採技術研修の継続的な実施
・県内外林業関係者等を対象
・愛媛県実施の「資格取得研修会」に繋げる

(1)労働安全の取組
①労働安全衛生マネジメント研修の実施
・労働安全衛生に特に注力
・地元消防署・・・応急処置など座学と実践
・地元愛媛大学・・・安全ゲームによる知識取得

愛媛県林業研究グループ青年会議(愛媛県)

魅力ある林業に向けて、青年会議10年間の活動を振り返って、資格取得による地位向上に繋げた。

『森林施業プランナー』・『森林経営プランナー』が各地で活躍!

『森林施業プランナー』

- 地域において、小規模に分散している複数の森林所有者の林地をとりまとめて、間伐や主伐・再造林等の森林施業を効率的・効果的に行い、森林所有者への収益還元を実現する方法として取り組まれている「提案型集約化施業」を担う主役として、これまでに約2,900名を認定しました。
- 具体的には、森林所有者に対して、路網計画、間伐方法等の森林施業の方針、利用間伐等による事業収支等を示した施業提案書を作成・提示して施業を受託し、現場技術者への指示・発注・管理を行うまでの森林施業の集約化を実践するとともに、森林経営計画の作成を行います。



森林施業プランナー 森林所有者

『森林経営プランナー』

- 戦後造成された人工林の過半が利用期を迎える中、需要を意識して、木材の有利販売事業を展開し、一方で、森林の持続経営や公益的機能の重要性に基づく、森林整備事業を地域においてバランスよく推進することができる者が求められており、これらを企画・実践する者を「森林経営プランナー」と位置付け、森林経営プランナー制度を創設し、これまでに198名を認定しました。



森林をまとめて、集約化することで搬出などにかかる経費を削減

●森林施業プランナー協会 東京都千代田区鍛冶町 1-9-16 TEL 03-6700-4757
●森林施業プランナー協会サイト (HP) <https://shinrin-planner.com/>

第53回 全国林業後継者大会 埼玉 2025

「第53回全国林業後継者大会埼玉2025」が5月24日、埼玉県飯能市の飯能市市民会館において、「森が支える日本の未来 私たちの手で作り出そう」を大会テーマとして開かれ、全国から林研グループ等林業関係者438名が参加しました。

(主催者/全国林業研究グループ連絡協議会、埼玉県森林協会、埼玉県、飯能市)



特別講演：株式会社農林中金総合研究所
安藤範親主任研究員



パネルディスカッションコーディネーター
平井純子駿河台大学副学長



埼玉県立秩父農工科学高等学校森林科学科の生富さんと沼澤さんによる大会宣言



菊池愛媛県実行委員会会長による次期開催県挨拶



オープニング コカリナ演奏 (黒坂黒太郎 & さいたまコカリナアンサンブル)



QRコードでGO!!



井上実行委員会会長による開会の言葉



齋藤全林研会長の挨拶



青山林野庁長官(当時)の祝辞



田中全林協副会長の祝辞



パネリストの皆さん

閉会式典では、埼玉県立秩父農工科学高等学校森林科学科の生富勇乃介さんと、沼澤涼さんにより、「林業という仕事は、希望や誇りをもって働き続けられる魅力のある職業となるよう、私たちが導いていかなければならない」との大会宣言がなされました。

続いて、第54回全国林業後継者大会愛媛県実行委員会の菊池俊一郎会長から次期開催県の挨拶があり、埼玉県実行委員会浅見浩司副会長による閉会の言葉により幕を閉じました。

閉会式典では、埼玉県立秩父農工科学高等学校森林科学科の生富勇乃介さんが参加してパネルディスカッションが行われ、それぞれの立場から活発な討論が行われました。

この大会は、昭和45年、全国植樹祭の前日に福島県猪苗代町において、「全国林業後継者のつどい」として開催されたのが始まりです。これを契機に「全国植樹祭関連行事」として、各県で開催されるようになりました。

開会式典では、井上淳治第53回全国林業後継者大会埼玉県実行委員会会長の開会の言葉にはじまり、山崎達也埼玉県副知事、齋藤正全国林業研究グループ連絡協議会会長の主催者挨拶、新井重治飯能市長による歓迎の言葉、来賓の青山豊久林野庁長官(当時)、田中惣次全国林業改良普及協会副会長が祝辞を述べられました。

特別講演では、株式会社農林中金総合研究所 安藤範親主任研究員から「世界の林業動向から読み解く日本の森の将来」と題してご講演いただきました。

特別講演に続き、「持続可能(サステナブル)な林業って何なん?」をテーマに、平井純子駿河台大学副学長をコーディネーターとして、パネリストとして高橋昭夫株式会社FOREST COLLEGE代表取締役、小池啓友株式会社ウッドイーコイケ常務取締役、若林知伸同会社西川Rafers代表社員、門平宗久株式会社広域森林組合森づくり推進第二課長兼木材センター所長、株式会社森田建設緑化緑環

特別講演に続き、「持続可能(サステナブル)な林業って何なん?」をテーマに、平井純子駿河台大学副学長をコーディネーターとして、パネリストとして高橋昭夫株式会社FOREST COLLEGE代表取締役、小池啓友株式会社ウッドイーコイケ常務取締役、若林知伸同会社西川Rafers代表社員、門平宗久株式会社広域森林組合森づくり推進第二課長兼木材センター所長、株式会社森田建設緑化緑環

スマート林業

ドローンの現場活用術

林研グループメンバーが関わる林業経営体の実践

11月7日、全林研の自主事業として中央研修会をオンラインでリモート開催しました。

近年、スマート技術は林業分野でも実用化され、導入が進められています。本研修では、スマート林業の基礎となり着手しやすいドローン技術の活用について、林研グループのメンバーが関わる2つの林業経営体の実践を発表いただきました。

「コミュニケーションツールとしてデータを活用」

発表を行ったのは、ヤマサンツリーファーム（宮崎県）の中田昂希さんと有限会社高見林業（栃木県）の斎藤州生さんです。

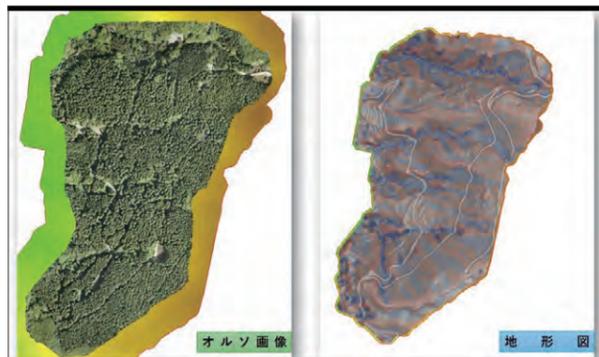
中田さんがドローンを用いたスマート林業に取り組みるのは、現場作業の打合せがきっかけでした。現場経験がまだ浅かった中田さんには、「あのケヤキのあるところ」とか「もう一つ谷を渡ったところ」という、符号での会話について行けませんでしたが、意思疎通ができるようにしたいと、まずは携帯電話のGPS機能を使っ



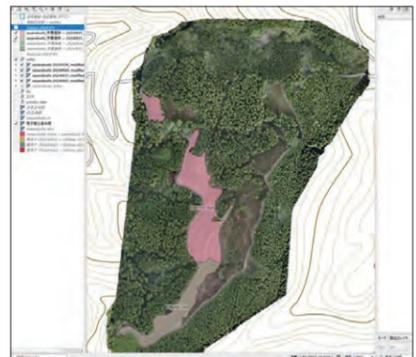
QRコードでGO!!

て現場の位置情報を記録することから始めたところ、現場の地形がイメージできるようになりました。これを進めることで作業の効率化が図れるのではと考え、紙の地図をデジタル化して、GIS上で管理を始め、山林の資源量の把握のためのドローン導入につながっていきます。

現在、ドローン測量（LiDAR*1）で得られたデータから点群データ



ドローンデータから作成したオルソ画像（真上から見たような傾きのない、正しい大きさで位置に表示される画像）と地形図



地形図に重ねたオルソ画像。ピンク色が伐採箇所で、解析により伐採材積等を推定

（*2）を生成し、材積推定や流域計算を行っています。また、定期的にドローンによる現場データを取得し、伐木作業の進捗管理を立米単位で実施しています。

*1: レーザー光を照射し、その反射光で対象物までの距離や形状、位置を高精度で測定する技術
*2: レーザーを照射して取得した3次元の座標情報をもった点の集まり

ドローンで下刈りリスクを軽減
齋藤さんは、小型ドローンと大型ドローンの現場活用術について発表しました。ここでは大型ドローンによる成長抑制剤散布による下刈りの代替作業を紹介しています。

従来の下刈り作業は、急傾斜地での危険度の高い作業であること、夏の炎天下の作業が基本となり、熱中症リスクや歩きながらの刈払機を使う作業のために作業者の疲弊が課題でした。下刈りを代替する大型ドローンによる成長抑制剤の散布では、ドローン操縦者1名、バッテリー交換や薬剤補充



大型ドローンによる成長抑制剤の散布。ドローンはマニュアルモードで飛行させ、下層植生の繁茂具合に応じて散布量を目視で調整

をする補佐2名、先山で安全確保の誘導係が2名という1班5名の人員配置で作業を行い、現場2・4haの薬剤散布が2時間で完了すること。作業は、薬剤が効果を発揮する下草に朝露が残る日の出から数時間のうちに実施するので、併行して行う木材生産などの作業への影響が小さくなったという発表でした。

スマート林業に関心はあっても、なかなか具体的な導入に踏み切れない方もいらっしゃるかと思います。全林研では今回のような研修の機会を通じて、今後皆様と情報の共有を行っていきます。



成長抑制剤の効果比較。作業道の左斜面が散布した植林地。緑色に枯れ残っているのが植栽木。右は散布していない林地

未来の森林・林業を担う

令和6年度全国がんばる林業高校生表彰

がんばる林業高校生を表彰

「全国がんばる林業高校生表彰」は、未来の森林・林業を担う人材として、地域の森林・林業の振興及び、課題等の解決を目指して意欲的な活動・研究に取り組んでいる高校生を応援するため、全国林業研究グループ連絡協議会（全林研）が開催している表彰行事です（後援：林野庁、協賛：全国林業改良普及協会）。

5回目となる令和6年度の表彰行事は、森林・林業関係資格の取得や研究等の取組状況、受賞実績、森林・林業振興をはじめとした社会活動への参画状況を多面的に評価する「学校推薦部門（個人）」と、地域の森林・林業の振興や課題解決に向けた活動・研究、社会活動への参画状況、成果物の地域社会への貢献等を評価する「地域活動・研究部門（グループ）」の2部門で実施されています。

各賞を決める二次審査は、2月2日にオンラインで開催され、「学校推薦部門」6名、「地域活動・研究部門」8グループが発表を行いました。



最優秀賞（林野庁長官賞）
熊本県南陵高等学校の原口煌人さんと青山林野庁長官（表彰時）

地域とのつながりで学ぶ

最優秀賞の林野庁長官賞は、「学校推薦部門」では熊本県立南陵高等学校・原口煌人さん（2年生）が、「地域活動・研究部門」では群馬県立利根実業高等学校・森林科学部がそれぞれ受賞しました。

学校推薦部門、地域活動・研究部門ともに、皆さんが充実した高校生活を送られたということが目に見えるような素晴らしい発表でした。

「いずれの取り組みも地域の課題をしっかりとついで解決しようとする姿勢がありました。他者の意見を聞き、そのようなつながりの中で学ぶという社会に出てから必要なコミュニケーション



最優秀賞（林野庁長官賞）
群馬県立利根実業高等学校・森林科学部のみなさん

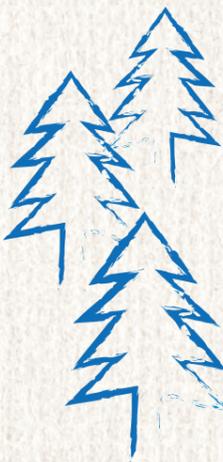
ションを高校生のうちから取られていることに感心しました」と審査委員。発表には、林研グループや林業経営体が協力している事例もありました。

シオンを高校生のうちから取られていることに感心しました」と審査委員。発表には、林研グループや林業経営体が協力している事例もありました。

全林研としても本表彰行事やインターシップ事業（林野庁補助事業・未来の林業を支える林業後継者養成事業）を通じて未来の森林・林業を担う林業高校生のサポートを引き続き行っていきたくと考えています。

将来性のある成果
clear 地域の特産品を作る
clear 観光の一つにしたい
clear 楽しく継続したい
clear 竹林に価値を与える
⑤ 竹林を将来に残す
～無価値からの挑戦～

群馬県立利根実業高等学校「放置竹林の夢 無価値からの挑戦」と題したプレゼンテーション。放置された竹林の問題点について、プラス思考で課題解決の方法を挙げて、実践によって検証



令和7年度の本表彰行事のエントリーは、9月1日～10月31日まで。お近くの林業高校の先生に働きかけて、大勢の未来の森林・林業を担う高校生にエントリーいただけるよう協力をお願いします。

表彰行事の詳細は、2次元バーコードからご覧ください。

全国がんばる林業高校生表彰
大募集

令和7年度
表彰行事の
詳細は、2次元
バーコード
からご覧ください。



山・森・人 フォトコンテスト



令和6年度受賞作品

優秀賞

大日本山林会会長賞
「仲間」



こもりやたかし
小森谷孝志 氏

撮影場所：青森県モヤヒルズにて

作品介绍(説明)：林業業界、若い人へのつながりがなかなか難しいといわれている時代ですが、競技会を通してつながる仲間たちはまさに林業研究会の大事にしてきた「つながり」を新しい力として示してくれています。

日本林業経営者協会会長賞
「下刈り完了」



ふしみよしひろ
伏見義博 氏

撮影場所：栃木県大田原市

作品介绍(説明)：真夏の炎天下、下刈りが完了して一仕事終わったところです。

全国林業改良普及協会会長賞
「樹上の職人」



よつだすみお
四田純夫 氏

撮影場所：富山市婦中町大瀬谷

作品介绍(説明)：安全面に配慮して樹上で作業をしています。



全国林業研究グループ連絡協議会主催の第1回「山・森・人フォトコンテスト」が開催されました。林業での日々の楽しさや森林の美しさ等の一コマを撮影・応募いただき、公開することで、林業のイメージアップを図ることを目的としたフォトコンテストです。

募集期間で集まった作品総数は、114点。たくさんのご応募ありがとうございました。全国から寄せられた作品の中から入賞された方々の作品をご紹介します。



QRコードでGO!!

最優秀賞

林野庁長官賞
「受け口」

とよどめ まさる
豊留 勝 氏

撮影場所：鹿児島県薩摩川内市

作品介绍(説明)：間伐現場において60年生のヒノキを伐倒するための受け口を作っている様子を撮影しました。

佳作 全国林業研究グループ連絡協議会会長賞

「流れゆくもの」



こもりやゆうこ
小森谷祐子 氏

撮影場所：群馬県みどり市山中にて

作品介绍(説明)：川修羅・築(久保田喜助氏最後のきやし)2005年昔ごと研究会さんのイベントの写真。

「丁寧に」



かどわきよし たか
門脇清慶 氏

撮影場所：高知県四万十町

作品介绍(説明)：丁寧に木材を扱い、枝を手作業で取っている様子を撮影しました。

「ベテランと新しいクヌギ山」



なかしまさかず
中司勝万 氏

撮影場所：福岡県八女市矢部村

作品介绍(説明)：自分の山を杉からクヌギへと植え替えの現場。父親世代の大先輩に植林してもらっています。

「浦山の獅子舞」

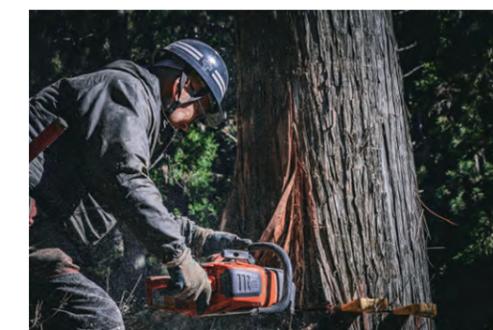


あきやま まさ のり
秋山正則 氏

撮影場所：秩父市浦山

作品介绍(説明)：秩父さくら湖の奥にある浦山の、大日様の縁日に行われる獅子舞です。

「生涯現役」



さいとうくに お
齋藤州生 氏

撮影場所：栃木県鹿沼市上粕尾

作品介绍(説明)：若手が増えた作業班で風格際立つ60代の大親方。新しい親方に仕切りを任せても、まだまだ最前線に立つ。

QRコードでGO!!

- ① スマートフォンのカメラアプリを起動
 - ② QRコードにカメラをかざす。
 - ③ リンクバーやURLが表示されるのでタップ
- 今回の「緑創」にはたくさんQRコードを用意しています。お試しください。
- 注：一般的に不審なQRコードはスキャンしないようご注意ください。

● **広報紙/会務報告**
 広報誌では、全林研だより「緑創」をPDF版にてダウンロード可能です。会務報告、役員・事務局紹介についても是非一読いただければと思います。



https://zeninken.com/
 全林研ホームページ



https://www.youtube.com/@zeninken
 全林研Youtubeチャンネル

全林研ホームページ紹介

主な内容のご紹介をさせていただきます。

- **情報提供**
 情報提供には、全林研に係るセミナーの案内、全林研事務局からのお知らせを提供しています。
- **森人の声**
 森人の声は、全林研 Youtubeのアップロードを中心に主催事業の映像コンテンツ等掲載することで皆様、全国各地の情報も含め発信しています。
- **イベント案内**
 イベント案内については、主催事業や要望に応じて、各県林研各単位林研のイベント情報をお知らせしていく予定です。
- **広報紙/会務報告**
 広報誌では、全林研だより「緑創」をPDF版にてダウンロード可能です。会務報告、役員・事務局紹介についても是非一読いただければと思います。
- **お問い合わせ**
 最後にお問い合わせフォームをご用意しています。わからない点、疑問な点についてお気軽にご相談・お問い合わせいただけます。



会員 SNS 関連ページリンク及び、全林研 Youtube チャンネルへの動画掲載募集について

全林研では会員（都道府県林研、単位林研等）で作成している SNS について全林研ホームページにて関連 SNS ページのリンク及び、会員が撮影した動画を全林研 Youtube チャンネルにて情報発信を行う事業を進めています。つきましてはリンク先や動画を募集しておりご協力をよろしくお願いいたします。尚、関連ページ及び Youtube への掲載には時間がかかる場合、動画一部修正する場合がありますことをご理解、ご了承いただければ幸いです。応募は全林研ホームページのお問い合わせホームよりお願いいたします。

令和7年度 林研ユニフォーム等のご案内

Tシャツ、ポロシャツ、ブルゾンやタオル等の制作・販売を行っています。林業グループコンクールをはじめ、林研事業の実施や各地で開催されるイベントなど、さまざまな活動の場でご利用ください。

新登場

便利な胸ポケット付き

薄く、軽く、速乾性・通気性にすぐれた素材です。

UV カット機能付き

便利な両脇ポケット付き

●グリーン ●レッド ●エプロン...2,000円

●ブラック ●デイズ ●グレー

長袖ドライTシャツ...1,700円

トートバック 1,100円

帽子...1,600円

その他のアイテム

タイピン 700円

下敷き 1枚 100円

・100枚以上 50枚単位

・B5サイズ

●イエロー ●レッド ●ネイビー

ブルゾン...4,400円

エコタオル 350円

山火事注意 手ぬぐい...1,200円

■ お申し込み・お問合せ先

お求めは、グループまとめて都道府県林研連事務局へお問い合わせは、全国林業研究グループ連絡協議会 03-3500-5033 まで

※令和5年度林研ユニフォームのチラシはこちらからご覧いただけます。

第2回目の 山・森・人 フォトコンテスト を開催します。

林業での日々の楽しさ、美しさ等をテーマとした写真を撮影し、以下のQRコードの応募フォームに必要事項を入力の上、写真データを添えて令和8年1月20日までに提出をお願いします。奮って、応募ください！

● **参加資格**
 林業に関心のある者とし、特に制限は設けない。

● **行事の期間・場所**
 募集期間 令和8年1月20日まで
 審査日 令和8年2月
 表彰式 令和8年2月27日(通常総会の席上で表彰)
 会場：全国町村会館 (東京都千代田区永田町1-11-35)

● **表彰**
 最優秀賞 林野庁長官賞1点
 優秀賞 全林協会長賞1点、
 大日本山林会会長賞1点、
 日本林業経営者協会会長賞1点
 佳作 全林研会長賞5点
 ※全林研総会において表彰式を行う。全林研会長賞は賞状を郵送。

● **参加要領**
 林業での日々の楽しさ、美しさ等のコマを撮影し、事務局が別途指定するURLへデジタルデータにより、別紙「応募シート」を添えて提出。

● **提出にあたっての留意事項**
 ・撮影にあたっては、本格的なカメラだけではなく、スマートフォンなどのカメラで撮影したものでよい。
 ・作品は未発表のものかつ他者の権利を侵害しないものとする。
 ・現場風景に働く人々の日常を切り取ったもの。
 ・できるだけ楽しそうな写真
 ・人を通して美しさや魅力が伝わる写真
 ・労働安全に配慮した写真
 ・何点でも応募可

※作品の取扱いについては、
 出展者の著作の権利を守り、それに伴う法令を遵守します。



第35回世界子ども愛樹祭コンクール作品募集

「第35回世界子ども愛樹祭コンクール」(主催：NPO法人世界子ども愛樹祭コンクール・コスモネット)の作品募集が始まりました。応募のしめきりは、11月30日(日曜日)当日消印有効となっています。多くの皆様の募集をお待ちしております。

● 地球に自然の恵みを与える森林環境に関心を持つ。
 ● 緑・森林づくりをしようとする意識を高める。
 ● あなたのまわりのみどりや木々を見つめ、見たこと・聞いたこと・したこと・思ったことを絵や文に表してみよう。

募集作品規格

- 詩(俳句・短歌・標語を含む)・作文
 400字詰め原稿用紙5枚以内。
 詩等は用紙自由(A4サイズまで)
 *日本語による応募に限ります。
 *濃いめの鉛筆ではっきりと書いて下さい。
- 絵画
 画用紙四つ切りサイズ基準。画材は自由。
 裏面に主題(表したかった事)をご記入下さい。
 ● 木はがき
 木製のはがき、又は木板など。
 大きさは、はがきサイズからA4サイズまで。
 厚さ：形は自由。自作の板でも可。

応募しめきり
 令和7年11月30日(日)当日消印有効
 入賞者決定

- 一次選考会(令和7年12月13日予定)、及び最終選考会(令和8年1月13日予定)によって審査決定します。
- 入賞者にはご本人宛に通知をいたします。

応募資格

- 詩(俳句・短歌・標語を含む)・作文
 国内外の小・中学生(海外においては15歳まで)
- 絵画 国内外の幼児・小・中学生・高校生(海外においては18歳まで)
- 木はがき 年齢制限なし(15歳以下・16歳以上の二部)

応募方法

応募表に必要な事項を記入し作品と同封の上応募して下さい。
 ◎作品には氏名・学年(年齢)・学校名又は団体名を必ず記入。

表彰

- 森の大賞
 文部科学大臣賞 1点(作文の部)
 林野庁長官賞 1点(絵画の部)
 環境大臣賞 1点(木はがきの部15歳以下)
 日本郵便株式会社社長賞 1点(木はがきの部16歳以上)
 県・みどりの賞
 福岡県知事賞 2点(作文・絵画)
 福岡県議会議員賞 2点(作文・絵画)
 福岡県教育委員会賞 2点(作文・絵画)
 市・みどりの賞
 八女市長賞 4点(各部門)
 八女市議会議員賞 2点(作文・絵画)
 八女市教育委員会教育長賞 4点(各部門)
 選考委員等特別賞 12点(作文・絵画)
 テレビ局賞 20点(作文・絵画)
 新聞社賞 16点(作文・絵画)
 福岡県森林組合連合会会長賞 4点(各部門)
 JAふくおか八女組合会長賞 4点(各部門)
 JJAふくおか八女組合会長賞 4点(各部門)
 こどもワンヘルス賞 2点(作文・絵画)
 しゃくなげ賞 ●さくら賞 若十名(各部門)

はつらっコーナー



全国林業研究グループ連絡協議会
女性会議代表 坂本ちづる

女性ならではの知恵と力を合わせて

日頃より女性会議の活動にご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

近年、地震、山林火災、豪雨といった自然災害が頻発し、林業を取り巻く環境は厳しさを増しています。被災された皆様には、心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興を願っております。

さて、コロナ禍明けでようやく対面の活動を再開できるようになりました。昨年度からは、はつらっ編集委員が直接取材に伺い、女性林研グループの皆様の活動を広く発信するコーナーを再開しております。

困難な状況下でもそれぞれの地域で創意工夫を凝らし、林業の発展に貢献されている皆様の姿を広く紹介することで、他の地域の皆様への刺激となることを願っています。

また、昨年11月には、料理研究家の堀江ひろ子先生を講師に迎え「食べよう、作ろう、先人の知恵！伝統食、保存食、非常食」をテーマに現地とオンラインのハイブリット型で勉強いたしました。

3月の通常総会には、東京農業大学学長でキノコ博士である江口文陽先生から「山と水と美の関係」のテーマで講演いただき、きのこの話も興味深く拝聴しました。

今後も山村女性の生活の知恵や課題、女性活躍の情報を共有するセミナーを定期的開催できればと考えております。そして、女性ならではの視点や発想を生かし、持続可能な林業の未来を創造していくために、皆様と共に力を合わせて取り組んでまいりたいと存じます。

未来を支える事業の紹介

女性リーダーや女性の起業活動を支援するセミナー等の開催

全国林業研究グループ連絡協議会では、「令和7年度未来の林業を支える林業後継者養成事業」(林野庁補助事業)で、次の2つのメニューを企画運営しています。

1つめは、林業におけるキャリアプランやライフステージに応じた働き方を提案できる人材の育成を目的とした「令和7年度森林・林業を活かして地域を興す女性リーダーセミナー」の開催です(オンラインで実施)。

セミナーには、女性林業研究グループ、林業女子会、森女ミーティング、都道府県の林業普及指導員等が参加し(9/12月で5回開催)、講師(経歴、活動地域等が様々な5人の女性林業者)による、現在の取組に至ったきっかけ、その取組を実現するためのキャリアプラン、実現のために工夫した点等の話から、リーダーに不可欠な要素について学びます。

2つめは、女性林業者等による森林資源を活かした、新しいモノ・コトづくりや起業活動の促進を図るためのメニューで、起業実績を有する専門家による事業コンサルティングを「Forest Creative Women's School」と題して、オンラインで全9回の講座をスクール形式で開催します(7/11月)。

令和6年度 農山漁村女性活躍表彰

林野庁官賞受賞

特定非営利活動法人SCCR(宮城県富谷市)

(組織)



特定非営利活動法人 SCCRのHPはこちら

「農山漁村女性活躍表彰」について

農山漁村男女共同参画推進協議会が事務局となり、女性が農山漁村でいきいきと活躍できる環境づくりに資することを目的に農林水産業及び農山漁村の活性化、農林水産業経営や政策・方針決定への女性の参画推進、次世代リーダーとなりうる若手女性の農林水産業への参入など女性活躍推進のために優れた活動を行っている個人や団体の方々を表彰しています。



令和6年度は新緑芽吹き始めた3月に、戦前に建設された風格のある建物と戦火を逃れた巨木がある東京大学弥生講堂にて開催されました。寄稿担当の私もSCRメンバーであり同行いたしました。

団体の紹介

「地域に根ざし、多くの人々に喜んでもらえる活動がしたい」と同じ想いを持つ女性が



林業体験

集まり2012年に特定非営利活動法人SCCRがスタートしました。「笑顔Smileで楽しく挑戦Challengeし、人・自然・地域とつながるRelation」の精神で地域の環境保持や活性を目的に林業体験や木育活動、ミツバチ養蜂など、いろいろな分野で挑戦を続ける団体です。



木育活動



ミツバチ養蜂

活動内容

今回取り上げていただいた「みつばちの里づくり」。富谷市は自然豊

かで、蜜蜂を狙うクマから逃れるため養蜂場として休耕田を借用したのが始まりです。花



「みつばちの里づくり」のメンバー

いっばいにしてほしいと耕作したのが農業に携わるきっかけとなりました。それまで活動していた林業から派生した農業の始まりでした。林縁の整備などしながら里山づくりとなり8年となります。

最近、竹藪の中で眠っていた池にはサンショウウオが住み、キツネやタヌキなどやってくる生き物を含め、ネイチャーポジティブを意識し行動するよう活動になってきています。今後の進展が楽しみです。



サンショウウオ

今後の挑戦

受賞会場でのトークセッションで「里山で子どもたちが生き物に触れ、農業を体験することで変化していく

姿を目の当たりにしています。それを継続しつつ、子どもだけではなく、例えば引きこもりの大人の方も受け入れていきたいです。また、針葉樹だけの公園を、鳥や生き物が集まる広葉樹の森にする取組をしているので、その成果を出したいです。」と理事長の村上氏からコメントがありました。

昨年から富谷市内の大亀山森林公園内で、荒れたスギ人工林の一部を間伐し、生き物の住む森に変える挑戦を始めたばかりです。地域のボランティアの方々の力を借り、また企業や行政との協働事業として進めています。森づくりは長いスパンでの計画が必要となります。初めの一步ではありますが生き物と共生できる森を夢見て、次にバトンが渡せるまで挑戦は続きます。表彰いただいたことメンバーにとって励みとなりました。ありがとうございました。



スギを伐採

女性会議役員/千葉恵美

各地で活躍している林業女性グループを訪ねて

各地で活躍している林業女性グループを中心に、はつらっ編集委員(全林研女性会議役員)が取材する企画です。現地取材に応じていただきましたグループを始め、林研事務局、林業普及指導員等の皆様の協力に、深く感謝いたします。

群馬県

あかぎ団森づくりの会

「明るく・かわいく・元気よく」が当地アイドルが森を守る新しいカタチ

女性会議役員／島田陽子・山崎靖代

復活版全林研女性会議が訪ねる取材第2弾は、群馬県で当地アイドルとして活躍中の「あかぎ団森づくりの会」です。群馬県前橋公園でコンサートとすることで、関東地区在住の島田と山崎の二人で初取材に行つてまいりました。「アイドル」と聞くと、普段の林研活動とはかけ離れた印象を持たれるかもしれませんが、実は「あかぎ団森づくりの会」は、なんと林研グループに所属しているのです！そんな異色の経歴を持つ「あかぎ団森づくりの会」をぜひ皆さまにご紹介したいと思います。

コンサート終了後の30分の取材で、疲れているところだったと思いますが、天田さん、磯干さん、加藤さん、小菅さん、かなでさん、じゅじゅさんの6人の方は笑顔を絶やさず、はきはきと質問に答えていただきました。

ご当地アイドルグループ「あかぎ団」とは

「あかぎ団」という名前は、群馬県民にとって親しみ深い山「赤城山」から名付けられ、平成23年4月に結成されました。キャッチフレーズは「明るく・かわいく・元気よく」。歌やダンスを通じて地域を元気にする活動を続けています。メンバーは、中学生、高校生、社会人と幅広い世代の方10名で結成されており、歌やダンスのレッスン、加えて、山林での活動と大変忙しい日々を送っています。活動は次の4つを柱としています。①群馬県のPR活動(ぐんま特



▲あかぎ団の皆さんと筆者2人(前列左から小菅さん、かなでさん、じゅじゅさん、加藤さん。後列左から天田さん、島田(筆者)、山崎(筆者)、磯干さん。)

動をはじめた4年後(平成28年)に、「あかぎ団森づくりの会」を立ち上げ現在に至ります。そして、コロナショックで活動が制限されていたなか、群馬県林研さんとの出会いとお声かけがあり、令和3年に林研に加入されました。翌年、令和4年度に林業研究グループで発表されています。

「あかぎ団森づくりの会」活動内容

「あかぎ団森づくりの会」は、群馬県のシンボル・赤城山の自然再生を目的に、ファンと一緒に森づくり活動を行っています。活動のフィールドは、赤城山南麓の一部で0・51ha。松くい虫により荒廃した山を整備し、ヒノキ500本、コナラ500本の植付から始まったそうです。具体的には以下のような取り組みを継続中です。

・植林活動

暑い日、コンサート終了後の取材

取材当日の6月22日の群馬県前橋市は、気温35度と真夏の暑さでしたが、暑さも吹っ飛ばす元気でかわいい、若さあふれるご当地アイドル「あかぎ団森づくりの会」の取材です。イベ



完全装備で作業(じゅじゅさん)

は年に3回行つていた下草刈りも、木が成長し

- ・ 下草刈り、つる切り(年2回)
- ・ 動物の食害対策(ネット巻き・忌避剤塗布)
- ・ 松くい虫などの被害対策



下草刈り作業

活動に参加しているファンの方々に話を伺うと、

- ・ 「あかぎ団さんと一緒に植林や下草刈りをするのが楽しい」
- ・ 「コンサートも楽しいけれど、山に関わることで自分が面白く、山仕事の楽しさを知ることができました」

ファンとの森づくり

ファンの皆さんは、地元・群馬県はもちろんのこと、県外からも参加しています。中には、福島県や京都府から親子で訪れている方もいるそうです。

メンバーのじゅじゅさんは、6歳のときに「あかぎ団」のエコ活動に参加し、楽しみながらゴミ拾いをしていましたが、気が付くとアイドルとしても活動するようになっていました。

山での活動時には、メンバーたちは長袖・長ズボンにヘルメット、手袋という完全装備で臨んでいます。森づくりの初期には、植林した木がシカに食べられたり、ほかにも、さまざまな苦労があったそうです。そのたびに、木にネットを巻いたり、忌避剤を塗ったりして対策を重ねてきました。以前



あかぎ団とファンとの記念撮影



森に入る前には森林組合の方から説明を受ける

コンサートに参加！

せっかくの機会ということで、コンサートに参加してきました。コンサート前のグッズ販売で、私(島田)はタオルを購入したのですが、なんと「サイン券」付きで嬉しいサプライズでした。炎天下の中、ファンの方々は今か今かと開演を待っていました。音楽が流

れ始めると、可愛いドレスと髪飾りに身を包んだ「あかぎ団」の6人が登場。歌が始まると、ファンの合いの手やアイドルコールが入り、会場が一体となつて盛り上がりました。ダンスもとても素晴らしい、途中では水鉄砲でファンとの交流もあり、短い時間でも楽しいひとときでした。

コンサート後にはファンとの交流タイムがあり、私はさやかさんからタオルにサインをいただきました。笑顔が素敵で会話も楽しく、可愛いサインにほっこりしました。

取材当日は真夏のような暑さでしたが、メンバーたちはそんな暑さを感じさせないほど、元気いっぱいパフォーマンスで青春の輝きを届けてくれました。忙しい中でも「森づくり」への思いを忘れず、今後も「アイドル×森づくり」という新しいスタイルで、自然に関心を持つきっかけを広げてほしいと思います。取材のご対応ありがとうございました。

最後に、今回の取材にあたりご紹介・ご対応いただいた群馬県環境森林部森林局の渡邊室長様、荒井係長様、そして快く取材に応じてくださった、日程調整などにもご協力いただいた「あかぎ団森づくりの会」代表吉田真知子様に、心より感謝申し上げます。



※全国林業研究グループ連絡協議会 YouTube (www.youtube.com/@zenrinke) で、令和6年度全林研女性会議総会・はつらつ林業女性交流会をご覧になれます。

山を大切にすることが健康につながり、美にも役立つ。林学のみならず医学部、薬学部での研究に、あつと言う間に江口ワールドに引き込まれました。きのこの効能として、悪玉コレステロールが下がり、血液の流れが末梢に行き渡るにより、美白や肌荒れの防止につながる。毒きのこから創薬の可能性を見出し、認知症やパーキンソン病などの治療や薬の開発をしていること。また、えのき水の作り方が紹介され、即実践できるので食卓にきのこ料理が増える予感がしました。



えのき水の特徴

飲み水について考えさせられるテーマです。生活水が山水である発表者が、山の中で飲む水に疑問を持つなかで、生物濾過技術に出会い実践する報告でした。砂利とホームセンターで手に入るプラスチック製の容器や塩化ビニールパイプなど、身近な道具を使用してできる生物濾過装置はとも魅力的でした。参加者からも多くの質問があり、関心の深さが見られました。災害時の水



生物濾過技術の実験装置

全林研女性会議役員 (任期: 自 令和6年4月1日~至 令和8年3月31日)

全林研女性会議役員のメンバーです。みなさまと一緒に山の女性の“はつらつ”たる力で森林・林業を盛り上げたいと思っています。よろしく願いいたします。

- 〇代表 **坂本ちづる** (石川県・穴水町林業研究会)
- 〇副代表 **山崎靖代** (東京都・エンジョイ・フォレスト女性林研)
- 〇理事 **千葉恵美** (宮城県・特定非営利活動法人SCR)
- 〇理事 **島田陽子** (埼玉県・結木の会)
- 〇理事 **星野智生** (新潟県・こしじの森女性の会)
- 〇理事 **原見知子** (和歌山県・和歌山県林研連女性林研部会)
- 〇理事 **小田ちはる** (宮城県・美郷町北郷女性林研グループ)

第28回

はつらつ林業女性交流会

テーマ 山と水と美の関係

第1部 講演会 東京農業大学 学長 江口文陽氏

令和6年度はつらつ林業女性交流会はオンラインにて令和7年3月13日に開催いたしました。第1部は東京農業大学 学長 江口文陽氏による講演会、第2部は美郷町北郷女性林研グループ 小田ちはる氏の事例発表があり、山と水との関係をより深く考える機会となりました。



QRコードでGO!!

テーマ

まさかの事態に覚えておきたい山の水の活用宮崎県独自の生物濾過技術

第2部 事例発表 美郷町北郷女性林研グループ 小田ちはる氏



QRコードでGO!!

山を大切にすることが健康につながり、美にも役立つ。林学のみならず医学部、薬学部での研究に、あつと言う間に江口ワールドに引き込まれました。きのこの効能として、悪玉コレステロールが下がり、血液の流れが末梢に行き渡るにより、美白や肌荒れの防止につながる。毒きのこから創薬の可能性を見出し、認知症やパーキンソン病などの治療や薬の開発をしていること。また、えのき水の作り方が紹介され、即実践できるので食卓にきのこ料理が増える予感がしました。

震災などで山の水が濁った場合や汚染された水などを安全に飲めるように、山の生物濾過技術をヒントに、もう一度考えてみましょう！女性会議役員／原見知子

特別企画

はつらつ林業女性交流会

特別企画 はつらつ林業女性交流会

「食べよう、作ろう、先人の知恵～伝統食、保存食、非常食～」

※全国林業研究グループ連絡協議会 YouTube (www.youtube.com/@zenrinke) で、令和6年度 特別企画 秋のはつらつ林業女性交流会 意見交換会をご覧になれます。

QRコードでGO!!



料理家 堀江ひろ子先生

ご講演いただきました。親子三代料理研究家の堀江先生。ご自宅で代々と受け継がれた料理や料理方法(初代の泰子さんが、日本の電子レンジ黎明期からレンジのレシピを開発)、健康と料理の基本、故郷の宮崎県の伝統料理(のたいも、雑煮など)を教えていただきました。印象的だったのが、2022年3月に106歳で亡くなる3日前まで家族と食事をされていた堀江先生のお父さま。元気で長寿の秘訣は食事からだそうです。また、何世代かで一緒に料理をしていくとうまく家庭料理が引き継げるとのことでした。

全国からお届けいただいた24品目のレシピをパネルにして現地展示

第二部は、全国からお届けいただいた24品目のレシピを紹介。それぞれのグループの代表から説明いただきました。説明後は現地で試食できる食品に関しては、堀江先生と全国林業研究グループ連絡協議会の齋藤会長に召し上がっていただき、コメントもいただきました。初めて見聞きする食品がたくさんで、私も試食させていただきました。その地域に伝えられてきた「食」に、本当に感激でした。個人的には、福岡県の末時先生の「タケノコスルメ」と宮崎県美郷町北郷女性グループの「あくまき」は作り方や味が初めての体験で印象的でした。



宮崎県美郷町北郷女性グループはリモートで「あくまき」を発表。現地で堀江先生が試食して「美味しいっ!」とコメント



現地参加者(画面左上)とリモート参加者で記念撮影

当日は、たくさんのおみなさんにご参加いただき、そして、たくさんのおレシピ・食品の現物を持ち寄ったり、送っていただいたりして、本当にありがとうございました。ほかにもその地域に根付いた伝統食・保存食・非常食はたくさんあるかと思えます。次の機会にぜひお聞かせ下さい。女性会議役員／星野智生

全林研令和7年度の主なスケジュール等

● ブロック林業グループコンクール

北海道・東北(北海道)……………9月 2日(火)・ 3日(水) 近畿(京都府)……………9月 4日(木)・ 5日(金)
 関東・山梨(茨城県)……………7月17日(木)・18日(金) 中国・四国(高知県)……………7月24日(木)・25日(金)
 中部・北陸(福井県)……………10月 7日(火)・ 8日(水) 九州(宮崎県)……………8月28日(木)

● 森林・林業を活かして地域を興す女性リーダーセミナー

日時：令和7年9月～12月、5回程度開催 ……▶ 場所：オンライン(zoomにて開催)

● 全国がんばる林業高校生表彰

一次応募期間：令和7年9月～11月 ……▶ 場所：一次審査書面
 二次審査及び結果：令和8年1月 ……▶ 場所：二次審査オンラインプレゼンテーション

● Forest Creative Women's School

(森林資源を活かした新しいモノ・コトづくりや、事業拡張に挑戦したい女性のためのオンラインスクール)
 日時：令和7年7月～11月の夜間約2時間×10回 ……▶ 場所：オンライン講座

● 中央研修会

日時：令和7年11月20日(木) ……▶ 場所：オンライン

● 21世紀の林業を担う林業後継者養成セミナー

日時：令和7年9月4日 ……▶ 場所：岩手県
 日時：令和8年2月 ……▶ 場所：三重県

● 山・森・人フォトコンテスト

応募期間：令和7年10月～令和8年1月 ……▶ 審査・表彰：令和8年2月

● 全国林業普及研修大会

日時：令和7年12月5日(金) ……▶ 場所：全国町村会館(東京都千代田区永田町)

● 全林研女性会議通常総会・講演(予定)

日時：令和8年2月～3月(予定) ……▶ 場所：オンライン

● 全国林業グループコンクール、通常総会

日時：令和8年2月26日(木)・27日(金) ……▶ 場所：全国町村会館(東京都千代田区永田町)



編集後記

皆様こんにちは、緑創編集委員会委員長・全林研副会長の山口敏男です。
 全林研グループ員の皆様方におかれましては常日頃より全林研活動にご協力いただき心より感謝申し上げます。
 緑創第54号を作るに当たり編集委員、そしてグループ員の協力により大変良い物が出来上がりました。なお、緑創の中に女性林研のはつらつのページも盛り込まれております。グループ員の方々には是非読んでいただきたいと思っております。

林業経営「創意工夫」表彰行事のご案内

大日本山林会では、林業経営「創意工夫」表彰行事の募集を行います。ご応募お待ちしております。



1. 趣旨

林業経営の現場で役立つ技術的な発明や改良のほか、経営の改善に役立つ創意工夫事案を考案した方を顕彰するものです。

2. 表彰の対象となる分野

森林造成・伐採・搬出から女性の活躍まで、広範囲な分野が表彰の対象となります。

3. 参加申込方法

次のいずれかで申し込んでください。

- ① 創意工夫等を考案した個人(団体)からの直接申請
- ② 創意工夫等を考案した個人(団体)の関係者からの推薦

4. 審査・表彰

外部有識者で構成される「審査委員会」で審査を行い、3点以内に絞って大日本山林会会長が表彰します。

5. スケジュール

- ① 参加申込の受付期間 令和7年9月1日～8年1月31日
- ② 審査 令和8年2月～3月
- ③ 表彰(本会定時総会で表彰) 令和8年5～6月

山形県・大江町光林会「スマホを持って所有林を探しに行こう」(令和6年度優秀賞)



大江町光林会の研修会に参加した皆さんと位置情報を表示するスマホ画面



公益社団法人 大日本山林会

〒100-0011 千代田区内幸町1-2-1 日土地内幸町ビル2階
 TEL: 03-3587-2551 E-mail: sanrinkai@sanrinkai.or.jp

※応募方法等、詳しくは山林会ホームページをご覧ください。⇒ URL <https://www.sanrinkai.or.jp/>